

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公開番号】特開2001-104578(P2001-104578A)
【公開日】平成13年4月17日(2001.4.17)
【出願番号】特願平11-289428
【国際特許分類第7版】
A 6 3 F 7/02
【FI】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
【提出日】平成17年11月9日(2005.11.9)

【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項1】遊技盤に設けられた図柄表示装置と、
前記図柄表示装置に複数の図柄を同時に変動表示する図柄変動手段と、
前記図柄表示装置の複数の図柄を所定の順序で変動状態から停止状態にする図柄停止手段とを備え、
前記図柄停止手段は、停止予定の複数の図柄の組合わせ状態を少なくとも条件にして複数の図柄の停止順序を変えることを特徴とするパチンコ機。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0004
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0004】

その他パチンコ機は、図柄停止手段が停止予定の複数の図柄の組合わせが大当たり状態になることを少なくとも条件にして複数の図柄の停止順序を変えるところに特徴を有している。

上記手段によれば、複数の図柄の停止順序が変わった時点で大当たりが発生することを期待して待つことができるので、図柄表示装置を見つめるおもしろさが一層高まる。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

その他パチンコ機は、図柄停止手段が停止予定の複数の図柄の組合わせが外れリーチ状態になることを少なくとも条件にして複数の図柄の停止順序を変えるところに特徴を有している。

上記手段によれば、複数の図柄の停止順序が変わった時点でリーチが発生することを期待して待つことができるので、図柄表示装置を見つめるおもしろさが一層高まる。

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0066

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0066】

また、上記実施例においては、大当りカウンタ値Noに基づいて大当りおよび外れを判定するパチンコ機に本発明を適用したが、これに限定されるものではなく、例えば特典付き大当り、特典無し大当り、外れを判定するパチンコ機（確率変動機、時間短縮機等）に本発明を適用しても良い。

上記実施例に記載された技術思想について以下に記載する。

（１）図柄停止手段は、停止予定の複数の図柄の組合わせが大当り状態になることを少なくとも条件にして複数の図柄の停止順序を変えることを特徴とする請求項１記載のパチンコ機。

（２）図柄停止手段は、停止予定の複数の図柄の組合わせが外れリーチ状態になることを少なくとも条件にして複数の図柄の停止順序を変えることを特徴とする請求項１または２記載のパチンコ機。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】削除

【補正の内容】